

参加費  
無料

日本知的財産仲裁センターシンポジウム

# 企業の研究開発を支える知財活動、 “Freedom to Operate” を学ぼう!!

昨年度は、「知財の紛争解決は勝訴を目指すだけじゃない!!」をテーマに、和解、交渉、特許の有効性判断など、実際の知財紛争の解決に当たられた西野卓嗣氏（弁理士、元シスメックス知財本部長）を招き、「日本知的財産仲裁センター（JIPAC）」の提供する調停・仲裁・センター判定等の利用を通じた知財紛争解決の可能性について考える一日をお届けしました。

本年度は、強大なゼロックス特許網を撃ち破り、日本一の特許部隊を作られた丸島儀一氏（弁理士、元キャノン専務）を講師に招き、「キャノン」を「世界的企業」へと成長させる原動力の一つとなった知財活動についてご講演頂くと共に、実務者と共に丸島氏を囲み、「企業の研究開発を支える知財活動」について考える一日を企画しました。どうぞ奮ってご参加下さい。

## 開催要領

■日時 平成26年11月18日（火） 14:00～17:00（受付開始13:00）

■会場 名古屋商工会議所 2Fホール（名古屋市中区栄2-10-19）

### ■内容

（第1部）基調講演（14:15～15:15）

「キャノン特許部隊は、どうやってゼロックス特許網を撃ち破ったのか？（仮題）」

講師 丸島儀一氏（弁理士、元キャノン専務）

内容 「プロジェクトX（NHK）」、「キャノン特許部隊（光文社新書）」などにも紹介された“日本一の特許部隊”を率いて、カメラ専業メーカーであったキャノンを世界的企業へと成長させる中で「企業の研究開発を支える知財活動」を実践されたご経験に基づき、実務者必見のお話しを頂く予定です。

（第2部）座談会（15:30～16:50）

「相手の知財を把握する“Freedom to Operate”の重要性を考える!!（仮題）」

参加者 丸島儀一氏、当地区現役実務者

内容 研究開発、法務知財の現役実務者と共に、第1部講師の丸島儀一氏を囲み、「企画・研究・開発」と「法務・知財」とのミスマッチを無くし、真に役立つ知財活動を目指すための心構えをはじめ、そのために自社でできること、外部を活用する方法など、「企業の研究開発を支える知財活動」について考えると共に、JIPACの提供する「事業適合性判定（Freedom to Operate Opinion）」の紹介と、その利用可能性についても意見交換させて頂く予定です。

■主催 名古屋商工会議所、日本弁理士会東海支部、愛知県弁護士会、日本知的財産仲裁センター名古屋支部

■後援 中部経済産業局、愛知県、名古屋市、一般社団法人愛知県発明協会

■定員 250名（定員になり次第、締め切らせていただきます）

■参加費 無料

■対象 企業経営者、知財担当者、一般の方々及び弁理士、弁理士

※本セミナーは弁理士向け業務研修（2.5単位）としても企画しております。

## ■お申し込み方法

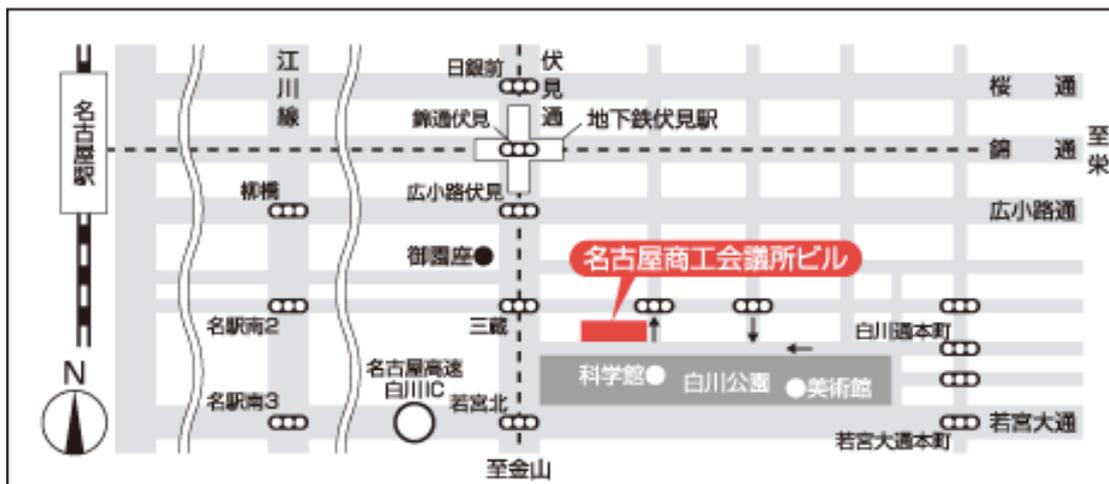
参加をご希望される方は、インターネット又は郵便、ファクシミリ（下記申込書に所定事項をご記入の上本状を送付して下さい）にて下記までお申し込み下さい。  
 なお、誠に勝手ながら、定員を超過した場合以外は折り返しご連絡を差し上げませんので、直接会場へお越し下さい。

■締切り 平成26年11月11日（火）

■申込み、お問合せ先 日本知的財産仲裁センター名古屋支部事務局  
 〒460-0008 名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル8階  
 日本弁理士会東海支部内 TEL:052-211-3110 FAX:052-220-4005

WEBからのお申し込みは、以下、日本弁理士会東海支部のホームページより受け付けます。  
<http://www.jpaa-tokai.jp/>

会場地図



日本知的財産仲裁センター名古屋支部 事務局 行 (FAX 052-220-4005)

## <日本知的財産仲裁センターセミナー 参加申込書>

フリガナ 氏名			
連絡先	〒 -		
	所属 (勤務先)	部署・役職	
TEL ( ) -		FAX ( ) -	

※複数名お申し込みの場合は、別紙に氏名等をご記入下さい。

※いただきました個人情報は、本セミナーを円滑に実施するために必要な範囲に限り利用します。また当支部からのイベント情報の提供に利用させていただくこともあります。